



センターWebページへ

トップ

高校教育課の取り組み

産業教育課の取り組み

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ

ハイライト:

「講座紹介」の特集号です。

当センターでは、今年度も多くの講座が実施されました。各課の特徴的な講座を紹介します。

目次:

高校教育課の取り組み	2
産業教育課の取り組み	3
講座紹介・受講者の声1	4
講座紹介・受講者の声2	5
ライブラリ・お役立ち情報	6
お知らせ	6

青森県総合学校教育センター センターだより

巻頭言「学習指導要領改訂とセンターの取り組み」

青森県総合学校教育センターは、教育に携わる職員の研修や教育に関する専門的な研究、児童生徒や保護者の皆さんを対象とする相談活動を行っています。中でも教育に携わる職員の研修は、職員一人一人が、各自のライフステージに沿って計画的かつ継続的に研修が出来るよう、平成20年度は基本研修、職務研修、専門研修、特別研修の203講座を準備し、皆様の来所をお待ちしております。

さて、7月に発行した「センターだより第7号（web版）」の中で、既に石橋所長も言及しておりますが、平成18年12月、60年ぶりに教育基本法が改正され、新たに教育の目標等が規定されました。また、平成19年6月には教育基本法の改正を踏まえ、学校教育法が一部改正され、さらに本年3月28日には、幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領が告示されたことは記憶に新しいところです。

この度の「学習指導要領改訂のポイント」としては、

- 「『生きる力』の理念の共有」
- 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」
- 「思考力・判断力・表現力等の育成」
- 「確かな学力を確立するための必要時間の確保」
- 「学習意欲の向上や学習習慣の確立」
- 「豊かな心や健やかな体の育成」の6点が挙げられます。

学習指導要領の改訂を受け、それぞれの学校においては、時代に対応した取り組みを具体的に展開しなければなりません。中でも、

- 「個性を生かす教育の実現」
- 「自ら学ぶ意欲の育成」
- 「体験的活動の重視」
- 「指導方法の工夫」
- 「教師の協力的な指導体制の工夫」
- 「一単位時間の弾力的運営」

等の点が、教育課程の編成や実施に際しては、これまで以上に強く求められると同時に、「特色ある学校づくり」を大きく左右するポイントにもなるようです。

当センターとしても、教育に寄せる県民の熱い期待に応えるために、①教職員の資質能力の向上を図り、学校が直面する多様な教育課題解決のための研修の充実、②教育の今日的課題解決に向けた調査研究・情報の収集、③特別支援教育の充実、④教育相談・適応指導、いじめ対応等を通じて、責任を果たしていきたいと考えています。

従来「センターにおける研修内容の改善」については、満足度による点検・評価を実施してきましたが、今後は、より客観的な評価を通じて、研修や研究活動等の改善につなげていくことが喫緊の課題であると考えます。既に、特定の研修講座に関しては直後の評価とともに、日を置いた事後評価（研修の有効度・満足度等）に取り組んでいますが、研修に対するニーズの把握（リサーチ）に努め、ニーズに即応した研修プログラムへ改めていく配慮も必要になります。

また、既にご案内を差し上げているところですが、今年の8月中旬には、従来の「授業情報システム」が、はるかに使いやすい「新授業情報システム」に更新されたことを、ここで改めてお知らせします。1件あたりの容量の拡大、使いやすい検索メニュー、わかりやすい投稿手順のように、とにかく誰にでも使えることを追求したシステムになっています。県内の先生方の学習指導案、先生方ご自身が開発された教材教具、音声教材、プリント等の「授業情報」を電子ファイル化・共有化し、「青森県の先生方が青森県の先生方のために育てるシステム」を基本コンセプトにしています。皆さんの積極的な登録・活用をお願いします。

今後とも、当教育センターは学校や教職員の皆さんを支援し、先導的役割を果たせるよう努力を積み重ねますので、よろしく申し上げます。



青森県総合学校教育センター
副所長 鳴海 悟

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

初任研・10年研について

高校教育課では法定研修として高等学校の先生方に対し、初任者には初任者研修を、また教職経験が10年を経過した方には10年経験者研修を行っています。

トップ

高校教育課の取り組み

産業教育課の取り組み

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ

初任者研修

初任の先生方に、1年間にわたり、合計して25日間のセンターでの研修及び宿泊研修を行っています。

- ・センター内での研修は合計16日間で、主として、教科指導、生徒指導、ホームルーム経営、生徒理解及び情報教育の知識や技能等について、その内容、指導法等の基本的事項を得ることを目的として行っています。
- ・センター外での研修は合計5日間で、主として、教職に関する幅広い知見を得るとともに、学習指導、特別活動等について実践的指導力を高めることを目的として行っています。そのため接遇マナーを研修したり、水難救急法、救命救急法の演習をしています。また、県内の高等学校に協力していただき、授業参観、研究協議を行ったり、特別支援学校を訪問しています。
- ・宿泊研修は、主として、学校では得難い各種の教育的経験を積むとともに、教員の相互交流を深めるために、梵珠少年自然の家を会場とし、3泊4日の日程で行っています。



教科教育基礎講座（理科）



宿泊研修（介護老人保健施設訪問）

10年経験者研修

学級経営、教科指導、生徒指導等に関する研修を行い、職務の遂行に必要な実践的指導力の向上を図ることを目的として、スクールマネジメント、授業力向上、生徒指導、社会体験に関する4つの共通研修を行っています。



社会体験研修（森林・林業体験）



スキルアップ講座

産業教育課の取り組みについて紹介いたします。

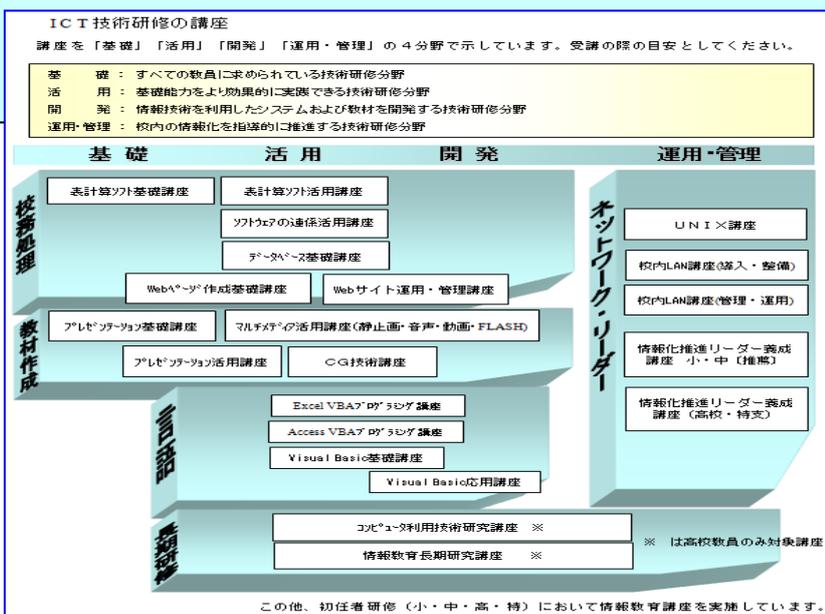


社会の電子化・情報化が急速に進展し、情報通信技術の更なる発展が予想されます。インターネット白書2007（財）インターネット協会）によるとインターネット世帯浸透率は83.3%（世帯内にインターネットを利用している人がいる比率）、日本の人口の8,226万6千人が利用しているとの調査結果がありました。「コンピュータ」や「インターネット」は私たちの生活に十分根付いたと言っても過言ではないでしょう。

情報機器の普及が進み、多くの恩恵を受ける反面、インターネット掲示板や携帯電話のメールによる「ネットいじめ」など、児童生徒がトラブルに巻き込まれる事件が増加しています。このことから、学校において「情報モラル教育」や「児童生徒に対して問題解決能力を育成すること」等への取り組みが急務とされます。

子どもたちがネットワークを介し情報社会に直接触れる様子を、車の運転に例えてみます。路上に出るためには、交通ルール、エンジンの構造やアクセルとブレーキの操作を学ぶだけではなく、目的地にどう行けば良いのかや場面によってどう対処すれば良いのかなど、車の特性を知るとともに、的確な判断力を養うことが必要です。的確な判断力を養うためには、乗車教習のようにICT（情報通信技術）を活用し実践させることが必要です。そのためにも色々な学習場面で、ICTを子どもたち自身が活用する機会を増やしていくことが求められ、指導する先生方の積極的な取り組みが望まれています。

当センターでは下図のように情報系講座を「基礎」「活用」「開発」「運用・管理」の4分野で示し、受講の際の目安としています。講座体系を参考に、身に付けたい技術、活用法等、先生方の目的にあった講座を受講していただきたいと思ひます。また、センターWebページ「情報教育」サイトからも、活用できる内容（現在、Vol.3 取組もう情報セキュリティ）を紹介していますのでご覧ください。産業教育課は今後も先生方のICT活用・実践を支援して参ります。



トップ
高校教育課の取り組み
産業教育課の取り組み
講座紹介・受講者の声 1
講座紹介・受講者の声 2
お役立ち情報・お知らせ



表計算ソフト活用講座
校務及び教科指導におけるICT活用の研修



マルチメディア活用講座
音声処理、静止画像の加工・作成、動画編集、DVD作成の研修



校内LAN講座
ICTの学習環境整備や校内LAN管理運用技術等の実践的な研修

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



初任者研修教職一般研修講座
—三内丸山遺跡現地研修の様子—



初任者研修教職一般研修講座
—県立美術館現地研修の様子—

トップ

高校教育課の取り組み

産業教育課の取り組み

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



発達障害児研修講座の講座風景

講座紹介・受講者の声 1

これまでに開催された講座の様子を受講者の声を交えて担当者が紹介します

「講座番号001 初任者研修教職一般研修講座（小・中）」7/31～8/1 開催

初任者研修教職一般研修講座では1日目に三内丸山遺跡と青森県立美術館で現地研修が行われ、2日目には「ボランティア活動」と「教師のメンタルヘルス」についての講義があり、次のような感想が寄せられました。

◆受講者の声

- ・初めて三内丸山遺跡を見学し、こんなにも素晴らしい教材が近くにあるのだと感動しました。今回の研修で、見学する子どもの立場に立って授業を組み立てていくことが大切だと学びました。
- ・美術館には強い抵抗感がありましたが、ギャラリートークをしてみて絵を一生懸命に見て、考えて、周りの人と話し合うことがこんなにも楽しいものかと感心しました。初めて絵に魅力を感じる事ができたことに驚きました。
- ・ボランティアで大切なのは、「優しいまなざし、温かい言葉、素敵笑顔」だと学びました。相手の立場に立って支援することの大切さや、体験をゴールにせず、もう一步踏み出して学習を深めることが必要だと学びました。
- ・「教師のメンタルヘルスについて」では、うつ病が決して遠い世界の話ではないのだと実感しました。ストレスへの対処の仕方を学んだので、心身共に健康であり続けるように注意していきたいと思いました。

「講座番号705 発達障害児研修講座」 10/9～10/10 開催

今や特別支援教育では欠かせないこととなった「困り感」。この「困り感」をもとに子どもたちの支援を考える岡山大学大学院の佐藤暁教授をお招きして、主に通常学級の中で困っている子どもたちの支援について講義していただきました。

「ヒント（答え）は現場にある！」「授業で困っている子は、授業で救おう！」「子どもがつながる先をつくってあげよう！」など、「つなぐ（穏やかな依存関係づくり）」をテーマに授業実践を通した具体的なお話をしてくださいました。

今日から「ご機嫌でいましょう！」という佐藤教授の言葉どおり、スッキリしたり、元気をもらったりした受講者の感想を紹介します。

◆受講者の声

- ・お話の中で「これはやってみてもいいかも…」「やれるかも」と参考になることがたくさんちりばめられていました。とても元気になりました。ありがとうございました。
- ・学級の子どもたちのつながりがいかに大事かがわかりました。そういう授業づくりをしなければ子どもの本当の学力につながらないと思いました。多くの子どもたちが自分の言葉で語る学習場面をつくっていきたいと思います。またお話を伺いたかったです。
- ・日々の授業の中で、「上手くいかない」「伝わらない」ことの原因を子どもの障害のせいにしてしまっていたことを、まず反省しました。佐藤先生のお話はどれをとっても子どもの気持ちに寄り添い、子どもの立場に立っているものばかりで、自分もそうありたいと思っていても、つい忘れがちになっていました。自分のしかり方、ほめ方、声の出し方さえも子どもにとってどう影響しているのか考えるきっかけになりました。聴いていて気持ちが晴れやかになりました。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

「講座番号072 県立学校教職経験5年研修共通講座」 6/30~7/2 開催

教職経験5年研修は、本県の県立学校教諭として採用されてから5年が経過し、現在県立学校に勤務している方を対象としており、今年度は主に平成15年度に採用となった方が対象でした。3日間の共通講座と2日間以上の選択講座を受講することになっています。

共通講座は、学習指導・生徒指導・進路指導について講義・協議・演習を通して指導力の向上を目指して実施されております。開講式に続いて宮城教育大学准教授 吉村敏之氏から「生徒の自立心を育てる教育の実践」と題して講義があり、故林竹二氏の実践した教育の紹介を通して授業の在り方を問いかける内容は、受講者にとって考えさせられるものでした。また、講座の多くは高等学校部会と特別支援学校部会に分かれて行われましたが、高等学校部会で実施された「模擬授業」は、事前に指導案の提出もあり、受講者にとっては負担を感じたものであったようです。しかし授業を見せ合うことで大いに刺激を受け、改めて授業の大切さを認識したものになったようです。

◆受講者の声

- ・模擬授業では、同じく5年前に採用された先生方がとても力量を高められていて、刺激になったとともに、大変勉強させていただきました。皆さんの前で授業することで、自分の勉強不足を実感しました。(高等学校)
- ・協議では、自分が担当している授業、生徒の抱えている問題について、いろいろな角度から検討することができました。自分一人では解決策が見つからず袋小路のように感じていたこともヒントが見つかり大変ありがたく思いました。(特別支援学校)

「講座番号601 不登校対策講座」 8/21~8/22 開催

本講座では不登校の未然防止のため、不登校の理解とその状況に応じた対応について、「Q-Uテスト」や「構成的グループ・エンカウンター」等を通して理解を深めました。グループ協議では活発に意見が交わされ、様々な実践が聞けて良かったと好評でした。また、「小中連携支援シート」を活用した不登校未然防止策を導入して、新座市の中学1年生の不登校数を減らしたという実績のある早川恵子先生を講師としてお迎えし、その実践とソーシャルスキルトレーニングについて講義・演習をいただきました。

◆受講者の声

- ・早川先生の講義では、不登校の子どもにはもちろんだが、その周りにいる子どもたちへの指導がとても大事だということがよくわかりました。そのためのソーシャルスキル・トレーニングの意義、その楽しさと効果も体験できてよかったです。2学期からは是非やってみたいと思います。
- ・協議ではそれぞれの体験やそのときの対応を具体的に聞くことができて勉強になりました。また、1つ課題を決め、それについて意見を交換したことで、多様な考えを聞くことができ、自分の考えを振り返るという点からも参考になって良かったです。研修したことを今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

「講座番号830 情報化推進リーダー養成講座<推薦>」

6/4~6/6 10/23~10/24開催

この講座は教育事務所から推薦された小・中学校の先生方を対象にして、学習活動にコンピュータや情報通信ネットワーク等を積極的に活用するための指導者および教育の情報化に関する研修等を企画立案する立場となる人材を養成することを目的に行なわれました。

岐阜聖徳学園大学の石原一彦教授や東北学院大学の稲垣忠准教授など著名な講師による講義・演習をはじめ、県内で活躍されている先生方の授業や校務における実践発表を織り交ぜた充実した内容でした。また、情報教育研修の在り方や様々なコンテンツの授業における活用法などの紹介を参考にしながら、受講者の先生方は学校現場の実情に合わせて校内研修を立案・実施し、その成果を発表しました。

◆受講者の声

- ・第一線で活躍されている先生の講義は大変分かりやすく参考になった。
- ・各校において行なわれた校内研修の事例発表は今後の現職教育に活かせる要素がたくさんあった。
- ・いろいろなコンテンツが紹介され参考になった。まずは自分で活用して校内研修で紹介していきたい。
- ・校内LANの環境整備など課題も多いが、工夫次第で色々な活用法があることを知った。
- ・研修内容を踏まえ、今後は定期的に校内研修を開催するようにしていきたい。



5年研修共通講座の講座風景

トップ

高校教育課の取り組み

産業教育課の取り組み

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



不登校対策講座の講座風景



情報化推進リーダー養成講座
一校内研修事例発表の様子一

～ 新着図書・ライブラリ紹介 ～

今年度第2次購入分の新着図書の一部をご紹介します。小・中学校の新学習指導要領の告示を受けて、解説関係の書籍も今後ますます充実させていきたいと考えております。

また、平成19年度の教育資料（各教育センター・研究機関・大学等の研究紀要等）のリストは、当センターWebページで確認することができます。トップページの「お知らせ」→「図書・ライブラリ」とお進みください。なお、当センターで所有する図書の一覧を、「新授業情報システム」の方にこれから徐々にアップしていく予定です。先生方の実践や研究にどうぞお役立てください。

書名	編著者	発行・出版社
これならできる 授業が変わる 評価の実際「関心・意欲・態度」を育てる授業	中村祐治、堀内かおる他	開隆堂出版
世界一やさしい問題解決の授業	渡辺健介	ダイヤモンド社
「教えて考えさせる授業」を創る 基礎基本の定着・深化・活用を促す「習得型」授業設計	市川伸一	図書文化社
魅力満載！『観察・実験・操作』でつくる「三平方の定理」の授業より良い外国語学習法を求めて	五十嵐一博	明治図書出版
「共に生きる子ども」を育てる国際理解教育	竹内理	松柏社
食卓から地球環境がみえる -食と農の持続可能性（地球研叢書）	佐藤郡衛、佐藤裕之	教育出版
「学力向上」実践レポート 実践の成果と舞台裏	湯本貴和	昭和堂
一から始める特別支援教育「校内研修」ハンドブック	田中耕治、西岡加名恵	教育開発研究所
Q&A 35歳からの教師の悩み解決ノート	高橋あつ子	明治図書出版
	長瀬荘一	教育開発研究所

お知らせ

～ センター研究発表会を開催します ～

当センターでは、研究成果を広く教育関係者に発表し、本県の教育向上に資するために、「青森県総合学校教育センター研究発表会」を開催しています。

今年度は、平成21年1月8日（木）～9日（金）2日間の日程で開催します。

○1日目 1月8日（木）

	9:30	10:00	10:15	11:45	13:00	15:20
8日（木）	受付	全体会	講演	昼食・休憩	部会別研究発表会（18発表）	

○2日目 1月9日（金）

	9:00	9:30	11:50	12:00
9日（金）	受付	部会別研究発表会（18発表）	閉会式	

演題「今、子どもたちが危ない ～携帯に取り憑かれた子どもたち～」
講師 安川 雅史（全国webカウンセリング協議会理事長）

なお、研究発表テーマ及び発表者、申込方法を記載した[開催案内をセンターWebページ](#)で公開しています。多くの参加をお待ちしております。

編集後記

7月から8月にかけて、教育事務所の教育課程説明会で総合的な学習の時間についての説明をさせていただく機会を得ました。総合的な学習の時間は、導入当初は追い風、やがて逆風に、さらに現在は無風だとも言われています。今回の改訂では、「探究的」「協同的」の文言が、小学校の学習活動においては「地域の人々の暮らし、伝統と文化」、中学校では「職業や自己の将来に関する学習活動」が加えられています。また、これまでの全国の実践をもとに数多くの例も示されています。必ずしも例示にこだわる必要はありませんが、例示も参考にしながら、これまでの各校の取組を見直すとともに、各学校段階間の連携を図ることで大きな成果を上げられるよう、総合的な学習の時間研修講座にも多くの先生方が参加してくださることを願っております。

（広報委員 神 和宏）

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

高校教育課の取り組み

産業教育課の取り組み

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



昨年度の研究発表会の様子